

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)11月6日

所 属 名:甲賀農産普及課

番 号:C25009

発 信 者 名:下川、池原、曾根

「びわほなみ」の播種前研修会を開催

10月16日、甲賀地域農業センター主催で、管内「びわほなみ」生産者を対象とした播種前研修会が開催されました。生産者や関係機関から計51名が参加し、当課からは「びわほなみ」の収量・品質の確保に向けた、「栽培ポイントについて」を説明しました。

甲賀地域では、「農林 61 号」や「ファイバースノウ」から「びわほなみ」への品種転換が進み、今年で 3 作目の播種となります。令和7年産「びわほなみ」の管内平均収量は、前年産と比較して 10a 当たり 65 kgの増収となりました。しかし、収穫時期の降雨により穂発芽が発生したことで、1 等比率や品質評価は低い結果となりました。

そこで当課からは、「びわほなみ」の品質・収量の向上に向けて、①排水対策の徹底による苗立の確保、②2 月下旬～3 月中旬の雑草防除の実施、③適期播種の実践による病害や凍霜害の抑制、④茎立期の穂肥施用による品質・収量向上、⑤赤かび病の適期防除の実施、⑥適期収穫による品質の確保について説明しました。特に、増収の要因となった茎立期の穂肥、赤かび病適期防除(2 回以上)、そして品質低下の原因となった適期収穫について重点的に説明し、基本技術を実践されるよう呼びかけました。

生産者からは、今作の状況を踏まえて、「びわほなみ」の今後の方向性や令和 10 年度産に向けた施策について質問がありました。

当課では、今後も「びわほなみ」の品質・収量向上に向けて栽培を支援していきます。



「びわほなみ」の播種前研修会の様子